

# 削減後 (羽田再拡張後)

図3

中国・北部九州方面  
(270便/日)  
➢ 経路の複線化  
➢ 横田空域の東端通過高度を  
13,000フィートから9,000フィート  
に変更

関西方面  
(70便/日)  
➢ 継続的上昇により  
効率的な運航となる  
ルート

南部九州・沖縄方面  
(100便/日)  
➢ 横田空域の東端  
通過高度を15,000  
フィートから9,000  
フィートに変更

到着経路  
➢ 出発機の効率的運航により  
経路短縮効果が期待

